



第15号
2011年10月6日

尾張旭市立東中学校

この通信は、2年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。

<http://www.owariasahi.jp/higashi-j>

深谷 男子

「9月19日〜21日、若狭でみんなと過ごした3日間は、いろいろな場面で発見や楽しさや我慢強さが見られました。」



☆何事もやりきることが大切なんだと思いました。ハイキングは途中イヤになったり休もうとしたけれど、友達と一緒に頑張ったから頑張ろうと思えたし、自分のためにも休むのは止めようと思いました。カッターでは漕ぐときは重くて辛いしさむいけど、きつと一生懸命やらないと後で後悔すると思ひ、頑張りました。その結果、達成感も味わえたり、頑張った良かったと改めて感じる事ができました。

☆初日の朝、深谷先生が「きずな」という漢字の話をしていました。私はその漢字が嫌いだった。すごくありふれているから。でも、キャンプ

尾張旭市立東中学校
2年通信の巻
みんなのついでついで

を通して思ったのはその「きずな」がとても大切であるということだった。ハイキングでは転びそうな手を助けながら歩いた。カッターではみんな協力してオイルを準備したり、みんなで声を掛け合い漕いだりした。そこで私は深谷先生の話が分かった。これからは「絆」を大切にしながら生活していこうと思った。

☆ハイキングやカッターなど、キャンプでは力のいる作業が多かったです。みんな仲割れもせず力を合わせて楽しくできたなと思ひました。弱音こそ吐いてはいたけど、友達がいてくれるのはとても心強いです。辛いけど頑張ろうと思ひました。お風呂や部屋もきれいで、とても心地よかったです。いろいろとよくしてくれた若狭の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

☆クラスで協力して、いろんな事が団結してできた。特に山登りやカッターなど助け合ってくれた。僕は班長で班長としてグループのみんなを助けることができた。キャンプでいろいろ経験させてもらい、とても楽しかった。雨が降っても先生たちが工夫して僕たちを楽しませてくれた。

☆あんなに急な山を登ったことはなかったし、これからはあまりないと思うので良い経験になった。その中でみんな協力して危ないところや、つかむ木を教え合ったりした。みんな力を合わせれば、大変なことでも乗り越えられるんだなと思った。カッターも1人の勝手な行動がみんなの迷惑になるのを感じた。

☆みんなが動くことやカッターやナイトタイムのドッジボールで思ったことは、みんなが心を1つにして協力しないとできないことがわかった。1人でもかけてしまったら迷惑をかけることになるから、みんなを合わせたと思う。家の暮らしは自分のやりたいようにやれるのに対して、若狭ではゲームもテレビもなかったのが辛かった。で

も、だからこそやって良いことと悪いことを教わることでできたから、そういう面では感謝が必要だと思ひました。

☆キャンプに行く2日前からドキドキしていました。若狭に行くのは初めてだから、どんな感じなのか楽しみでした。想像とは違ひましたが、同じ部屋になった子どもたちとも絆が深まりました。みんな協力し合ひながらの2泊3日は本当に楽しかったです。キャンプから返ってきたら「また行きたいな」と思ひました。

今日は、
いよいよ合唱練習です。



2年生は東中にとって重要な位置にいます。わかりますか。1年生には「さすが先輩！」と言われるように1年間の成長した合唱を聴かせましょう。また、3年生には「2年生に負けられない！」と奮起してもらえぬ歌を響かせましょう。笑顔のすばらしい諸君たちへ。体育祭・臨海学校とやりきったひとりひとりの力とクラスの団結力「絆」を見せてください。

